第７８５号 2012 年 12 月 23 日発行 日本共産党裾野支部

明るい裾野

小沢良一 tel 992-0875 fax993-8141 深良２７－２
岡本和枝 tell/fax 992-5174 茶畑 854-3 E101
http:www16.plala.or.jp/ozawa_ryouiti
peace_love_cabird@yahoo.co.jp

困ったことがあったら小沢、岡本のなんでも相談へ

総選挙。国民の暮らしを守るために奮闘しましたが1議席減。マスコミの相変わらずの選挙誘導や、大半が死票になり、

死票累々の小選挙区制度の問題点も明らかになった選挙でした。

裾野市分 小選挙区選挙結果

候補者名	党派の名称	得票数
おおば桃子	**日本共産党**	**1,518**
吉川たける	自由民主党	7,886
細野豪志	民主党	15,978
いしおろし久雄	無所属	1,008

裾野市分 比例代表選挙結果

政党名	得票数
日本共産党	**１，１１７**
日本維新の会	５，５８８
みんなの党	２，３０４
自由民主党	７，４８１
幸福実現等	７２
公明党	２，２２４
社会民主党	３８５
民主党	６，４３２
日本未来の党	９７９

共産党　議席減の8議席に

共産党裾野支部全員が支持者のみなさまとともに目標に向かって頑張りましたが、残念ながら全国的にも議席を１議席減らす結果となりました。

さらに古く悪い自民党型政治復活

永年続いてきた自民党型の古い政治が行き詰まりましたが、「さらに古く悪い自民党型政治の復活」という結果に。

選挙前から対案を出してきた共産党

私たち日本共産党は、経済をつぶす消費税増税反対、デフレ不況脱出には国民一人一人の所得を増やすこと、社会保障充実、対等平等の日米関係、領土問題は歴史的事実と国際的道理の外交で解決、日本の主権を壊すＴＰＰ反対、子孫の命をも脅かす原発は即時ゼロ、東日本大震災からの復興、競争教育をやめ「いじめ」問題の解決を、小選挙区制廃止、憲法９条を守る、等々の対案・政策を選挙の前から提案してきました。

マスコミ報道は「自民か民主か」そして　維新　第三極）」の動向のみ

しかし日本のマスコミは、くらしを良くするためになにが必要かとかなどは報道せず、「自民か民主か」とか「第三極の動向」ばかり報道しました。

危険な選挙結果 改憲賛成議員 8割

今まで､自民党型政治が行き詰まると､｢リベラル」とか｢一見左翼的言動の政治｣が進出していました。新自由クラブ、日本新党、新政党、新進党、民主党などです。しかし、今回は自由民主党安倍政権も維新の会も｢右翼の潮流｣で改憲賛成。今回の総選挙当選者の８割が改憲賛成。

これからも弱いものの味方の共産党 真面目一直線の共産党で がんばります

この国ではくらしや政治が行き詰まると｢勢いのある言葉を歓迎｣し、｢勢いのあることを言う政治家を歓迎｣してきました。今回は、自民党の安部氏、維新の会の石原、橋本の両氏がその典型です。

今回は、困難な闘いの中でも、日本共産党は８人の衆議院議員が当選しました。これは日本国民の良識のたまものです。

これからも、｢弱いものの味方共産党。真面目一直線の共産党｣で懸命に頑張りますので、ご支援の程よろしくお願いいたします。

日本共産党裾野市議団
日本共産党裾野支部

大橋市長のポリシー（方策あるいは方針）が曖昧の中で２施設の指定管理者業者決まる

２０１３年４月１日から２０１８年３月３１日までの５年間、裾野市の施設を管理運営する指定業者が１２月市議会で決まりました。｢市民文化センターは株式会社ケイミックス」で「ヘルシーパーク裾野は裾野市振興公社」です。

２施設は当初裾野市が直営で管理していましたが、地方自治法の改正で指定管理者を指定して施設の管理運営をすることができる様になりました。それに伴い、裾野市は財団法人裾野市振興公社を設立、裾野市は市税から寄付を行い振興公社の財政基盤を確立しました。

２００７年度(平成１９年度)から始まった指定管理では、公募をしないで裾野市振興公社を指定して管理運営を３年間任せ、その後３年間（平成２２年４月～２５年３月）も管理を任せて来ました。その間に指定管理者としての職務を全うしてそれぞれの施設で来客者のサービス向上に努め、管理運営にも工夫をして来ました。

その運営を評価することなく、平成２３年度に実施された裾野市行政改革推進委員会による「外部委員による事業評価」で、①公募によらないで指定管理者を指定するのは問題、②指定管理者が民間として工夫すればさらなる改善が期待できる、として指定のあり方を変更するように求められました。

事業評価に対して市長が自身の政治ポリシーとしてどうするのかを決定しますが、大橋市長は、｢振興公社が指定管理者にならなかった場合、職員は職場を失うことになり、公社をこれからどうして行くのか」の方針も決めず、外部委員の評価をそのまま受け入れ、公募による指定管理を今回決定。

共産党市議団(小沢良一･岡本和枝)は、振興公社は裾野市が指定管理者として設立育成してきた。既に直営から比較しても運営経費は安価で運営されている。振興公社の職員が努力と工夫で施設運営がされていることを評価して２施設とも振興公社に任すべきとの基本的立場で今回の指定について考えていました。振興公社がヘルシーパーク裾野を管理運営することは賛成しました。

「市民文化センターは株式会社ケイミッ

クス」との提案に対して、共産党小澤議員が、①市が設立育成してきた振興公社のこれまでの指定実績を評価しないで民間ならば安価にできると公募した事②公社職員の継続雇用がされていない事、を挙げてケイミックスに指定する事に反対をしました。

賛成討論は佐野利安議員（公明党）が行い、民間活力を導入することで業務内容が充実するなどを賛成意見として表明。

採決の結果、賛成起立多数（議員２１名中賛成１７名、反対３名　議長は採決に加わらない）で指定管理者は株式会社ケイミックス（東京都港区）に決まりました。

（＝小澤良一議員の委員会質疑より＝）

深良第3発電所南側交差点改良のための測量と設計委託に 186万円

裾野市内の幹線道路は、通勤時間帯の渋滞がひどく。改善が求められる中で市道１－４号線（通称農免道路）と県道仙石原新田線の交差点部分の、市道側交差点手前に左右車線を設け、車の通過をスムーズにする交差点改良工事の測量（用地取得を含む）と設計を行う予算が１２月市議会に計上されました。交差点改良工事は２０１３年度に県の農業・農村整備事業として補助金を受けながら行う予定です。

小澤議員は所属する産業建設水道消防委員会協議会で事前予算説明の中で、左折レーン（岩波方面）は常時一方通行で一旦停止して走行できる様にすれば渋滞は解消されるので警察と十分検討するように要請。

また農免道路の朝の渋滞で深良中学校の「押しボタン」歩行者専用信号機は中学生が横断し終わっても車道は赤なので横断時間を調整する事で渋滞が多少緩和されることも提案致しました。

12月議会　岡本和枝の一般質問と市の答弁 要旨）

1）　消防団員に関する報酬及び出勤手当の単価引き上げを。 本人に直接支給を。消防団運営交付金の増額を。

◎若者が消防団への入団をためらう理由。
全国レベルの話 ⇒ ①上下関係の厳しさ。②拘束時間の長さへの抵抗感。③家族の反対。④仕事との両立が困難（事業所への遠慮）。……「消防団の活動の在り方に関する検討会」報告から

なぜ検討会の指摘が実現しない？

質問＝防災のつどいで相馬市立谷市長の講演を聴きました。災害時の立谷市長のリーダーシップのすばらしさとともに、消防団の活動に心を揺さぶられました。消防団員は「非常勤の特別職地方公務員」です。地域防災の要としての消防団は、地域との［共助］だけでなく、もっと「公助」も必要では。

①消防団員の報酬及び出動手当の単価引き上げを。（**答弁＝「見直しのため来年度予算を検討している」**）

②報酬・出動手当は消防長官通知にあるように団員本人に直接支払いを。（**答弁＝「消防団からの見直し意見が出されていないので検討していない」**）

③消防団運営交付金の増額を。（**答弁＝「共助」でやって行きたい」**）

2）　駅西区画整理の見直しについて

質問＝　１７．６㌶の区域のままでは住民のための見直しにならないし、市財政を考えた場合でも非現実的設定。区域の縮小を。

答弁＝１７．６㌶で見直す監視委員会案に沿う方針。（区画整理からの）除外の具体的検討はしていないが今後対応は考える。裾野駅北側街区は早期に合意形成を目指し行

政案を作成。北側街区の計画変更の決定はＨ２６年度。仮換地指定の時期はＨ２７年度以降。戸別訪問し合意形成に努める。

質問＝「裏通りは歩行者の表通り」。裏通りの現道を水と緑をもっと前面に出して小柄沢公園のようなペーブメント（石を敷きつめた歩道）に。水系整備は市が行い、緑は自分宅の緑を手入れ。そうすれば裏通りで営業する店も、表通りに入り口があり裏通りにも面した店も、良い環境に触発され増えた歩行者を呼び込める条件が生まれる。道路幅は今のまま。区画整理手法は必要なし。費用も格安。**裏通りは歩行者の表通り、水と緑の町、駅前公園都市**です。

答弁＝そういうことも参考にしていきます。

3） 公立幼稚園と公立保育園の「幼保一元化」「民営化」問題について質問

地域や保護者、幼稚園、保育園の職員のみなさんにはしっかり情報が伝わっていません。また、保育士不足対策として人材派遣から保育士さんが来るという話のようですが、ホントでしょうか？臨時職員はどうなるのでしょうか？　一元化も民営化も「財源・お金」しか見えてきません。なにより肝心の子ども不在の論議でいいいのでしょうか。裾野市の地域性とこれまで培ってきた公的保育、幼稚園教育の評価を伺いました。

＝高齢者のみなさんの医療費負担の軽減対策＝

７５歳以上の方の医療費助成（12,000 円～ 15,000 円）

病院や薬局で支払った「保険適用の自己負担分」の「領収書」が必要です。申請期間は 1 月 8 日～ 31 日。詳しくは社会福祉課 ☎９９５－１８１９へ。

12 月 15 日号「広報すその」にも記事の掲載があります。

西中入り口信号が「歩車分離式」に変わったが、なにも表示がなく危険と市民からの声。調べに行った目の前で歩行者がひかれそうに！！！

西中入り口の信号機が「歩車分離式」に変わっています。信号機の上に表示はありますが、どういう順序で信号が変わるのかが、説明が信号機周りにありません。車の信号の替わり方は今までと同じですが、歩行者用信号機はボタンを押さないと「すべて赤」のまま。ボタンを押すと「すべて青」に変わる仕組み。

おじさんが横断歩道で待っています。歩行者用押しボタンは左の柱に。おじさんに「歩行者用ボタンを押さないと青にならないように変わったんだよ！」と教えました。ボタンを押し渡り始めると目の前を車が通過！

「全部青」に変わった歩行者用信号につられて発進した車です。市と沼津署にはっきりわかる表示板の設置をお願いしました。